

USER'S MANUAL

4ポート ブロードバンド ルータ

BRL-04EX

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

USER'S MANUAL

4ポート ブロードバンド ルータ

BRL-04EX

本製品を安全にお使いいただくために

警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



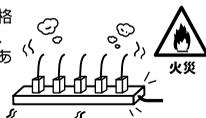
正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



液体・異物はいれないで！

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。万一異物や液体が入ってしまった場合は、電源コードをコンセントから外して弊社サポートセンターまでご連絡ください。



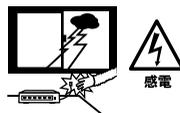
設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所

雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



電源コードをつけて移動しないで！

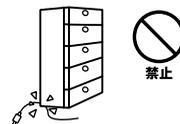
本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

- ◇コードの上に物を載せない
- ◇熱源の側にコードを置かない
- ◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する（かじった部分からショートし発火する危険があります）



◎おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。



このマニュアルの構成

本マニュアルは4ポート ブロードバンドルータ bRoad Lanner BRL-04EXの概要および使用方法について説明します。本マニュアルの構成は以下のようになっています。

必ずお読みください

第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

ご使用方法

第2章 ハードウェアの接続

本製品ハードウェアのADSL/ケーブルモデムおよびLANとの接続方法について説明します。必ずお読みください。

第3章 コンピュータの設定

本製品を使用したインターネットへのアクセスと本製品のWEBブラウザからの設定に必要なコンピュータの設定方法について説明します。

第4章 インターネット接続設定

本製品のインターネットへの接続設定について説明します。

第5章 詳細設定

本製品のDHCPサーバ機能やローカルサーバ機能等のより詳しい機能の設定の方法について説明します。

付録

付録A トラブルシューティング

「トラブルかな?」と思われる場合の対応方法について説明します。

付録B デフォルト設定

本製品の工場出荷時のデフォルト設定について説明します。

付録C 仕様

本製品の製品仕様です。

マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

目次

本製品を安全にお使いいただくために	2
-------------------	---

第1章 はじめに

1.概要	7
2.特長	8
3.梱包内容の確認	9
4.各部の名称	10
5.対応機器	13
6.設定の初期化	14

第2章 ハードウェアの接続

1.設置場所について	15
2.設置	16
3.WAN側ポートにADSL/ケーブルモデムを接続する	16
4.LAN側ポートへのコンピュータの接続	17
5.電源の接続	18
6.接続の確認	19

第3章 コンピュータの設定

1.Windows 95/98/Me	21
2.Windows 2000	24
3.Windows XP	27
4.Macintosh	30

第4章 インターネット接続設定

1.インターネット接続方法の確認	31
2.PPPoE接続の設定	33
3.DHCP接続の設定	39
4.固定IP接続の設定	43
5.ブリッジモードの設定	47
6.接続の確認	50

第5章 詳細設定

1.設定画面を開く	51
2.管理者パスワードの設定	53
3.タイムゾーンの設定	54
4.LANポートの設定	55
5.DNS設定	57
6.WANポートの設定	58
7.ローカルサーバ機能	63
8.バーチャルコンピュータ機能 (DMZ)	65
9.ファイアウォール設定	67
10.IPフィルタ設定	68
11.その他の設定	70
12.ステータス表示	71
13.再起動	72
14.デフォルト設定の読み込み	73
15.設定情報の保存/読み込み	74
16.ファームウェアのアップデート	75
付属A トラブルシューティング	77
付属B デフォルト設定	79
付属C 仕様	81
ユーザー登録について	84
弊社へのお問い合わせ	85

はじめに

1 概要

本製品は、ADSLおよびCATV(ケーブルTV)接続を使ったインターネット接続に対応したブロードバンドルータです。NAT/IPマスカレード(NAPT)機能によって、1つのIPアドレスを複数のコンピュータで共有し、同時にインターネットにアクセスできます。本製品はWEBブラウザによって、簡単にセットアップできます。

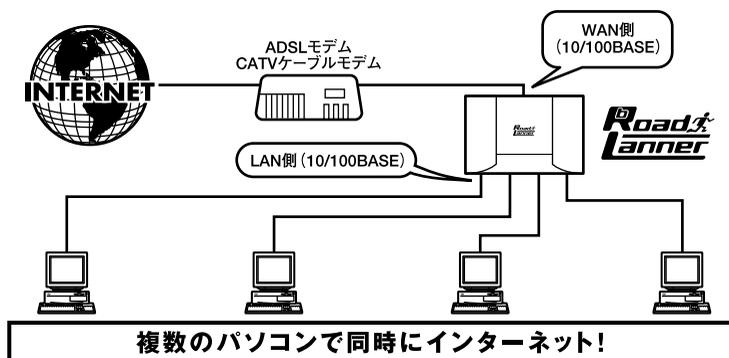


図1-1 bRoad Lanner接続図



注意

プロバイダによっては本製品のようなルータの使用や複数のコンピュータからのアクセスを制限している場合もあります。プロバイダとのご契約内容についてご確認ください。

2 特長

ADSL、CATV接続などのWAN回線に対応

NAT/IPマスカレード機能によって1つのIPアドレスを複数のコンピュータで共有できます

WAN側に100BASE-TX/10BASE-T自動認識に対応したRJ-45 STPポートを1ポート装備

LAN側に100BASE-TX/10BASE-T自動認識に対応したRJ-45 STPポートを4ポート装備

WAN側ポートはDHCPクライアントに対応

LAN側ポートはDHCPサーバに対応(最大253クライアントまで割り当てることができます)

DNSリレー機能に対応

ローカルサーバ機能によってTCP/UDPプロトコルのポート番号ごとに、LAN側のコンピュータにインターネットからアクセスできます

バーチャルコンピュータ機能によって、LAN側のコンピュータにインターネットからアクセスできます

簡易ファイアウォール機能を装備、インターネットからの攻撃を検出し防御します

フィルタ機能を装備、LAN側コンピュータのインターネットへのアクセスを制限できます

WAN側の接続方法は、通常接続のほかPPPoE接続、ブリッジモードに対応しています

WEBブラウザから設定できます

3 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確かめてください。

BRL-04EX本体

ACアダプタ

ツイストペアケーブル(ストレート：1m)1本

ショートケーブル1本

このユーザーズマニュアル

保証書(ユーザーズマニュアルの最後にあります)

不足品があるときは、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

4 各部の名称

本体前面

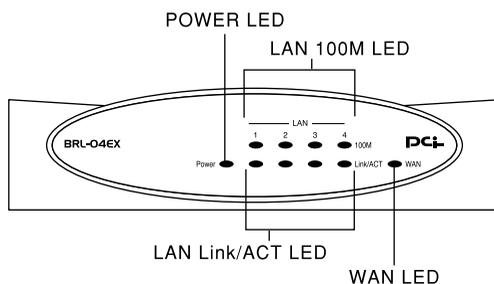


図1-2 BRL-04EX本体前面

「POWER LED」

本製品に電源が供給されているときに緑色に点灯します。

「WAN LED」

WAN側ポートのリンクが確立しているときに緑色に点灯します。また、ポートがデータの送受信中には点滅します。

「LAN Link/Act LED」

LAN側ポートのリンクが確立しているときに緑色に点灯します。また、ポートがデータの送受信中には点滅します。

「LAN 100M LED」

ポートのリンクが、100Mで確立しているときに緑色に点灯します。

本体背面

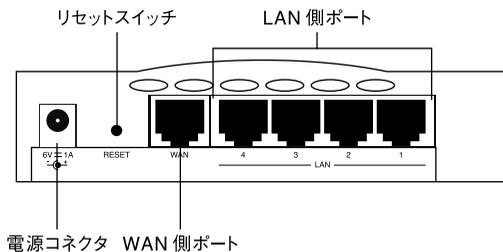


図1-3 BRL-04EX本体背面

「WAN側ポート」

本製品をADSLまたはケーブルモデムと接続するためのRJ-45 STPポートです。

「LAN側ポート」

本製品にコンピュータを直接接続するためのRJ-45 STPポートです。

「リセットスイッチ」

本製品を再起動するときや、本製品の設定を工場出荷時の状態に戻すときに使います。

「電源コネクタ」

付属のACアダプタを接続するための電源コネクタです。

本体裏面

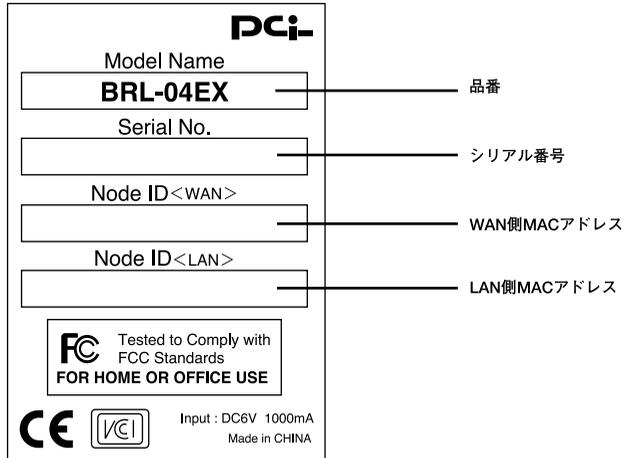


図1-4 BRL-04EX本体裏面

「品番」

本製品の製品型番です。

「シリアル番号」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受けるときにも必要になります。

「LAN側MACアドレス」

本製品のLAN側ポートのMACアドレス(物理アドレス)です。

「WAN側MACアドレス」

本製品のWAN側ポートのMACアドレス(物理アドレス)です。プロバイダによってはADSL/ケーブルモデムに接続する機器のMACアドレスの申請が必要なことがあります。そのときはこのWAN側ポートのMACアドレスをプロバイダに申請してください。

5 対応機器

コンピュータ機器

本製品は、以下のいずれかのコンピュータに対応しています。

Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XPを搭載し、Ethernet (RJ-45)ポートを装備したコンピュータ

TCP/IPが利用できるOS(Mac OS、各種UNIXなど)を搭載し、Ethernet (RJ-45)ポートを装備したコンピュータ

ネットワーク機器

本製品では、以下のネットワーク機器が必要となります。

ツイストペアケーブル

ADSL/ケーブルモデム

本製品は、以下のADSL/ケーブルモデムに対応しています。

RJ-45(LAN)ポートを装備した外付ADSLモデム

RJ-45(LAN)ポートを装備した外付ケーブルモデム

6 設定の初期化

IPアドレスやパスワードを忘れてしまったときや、間違った設定をしてしまい設定画面にアクセスできなくなったときなどに設定の初期化が必要になることがあります。



注意

設定の初期化を行うと、LAN側/WAN側ポートの設定やワイヤレス設定、フィルタ設定等すべての設定が初期化されます。初期化を実行する前に、本当に初期化を行っても問題がないかを確認してください。

本製品の設定の初期化は、以下の手順で行ってください。

1. 本製品の電源がONの状態ですべてのリセットスイッチを5秒以上押しつづけます。
2. リセットスイッチを離します。本製品のすべての設定が初期化されます。

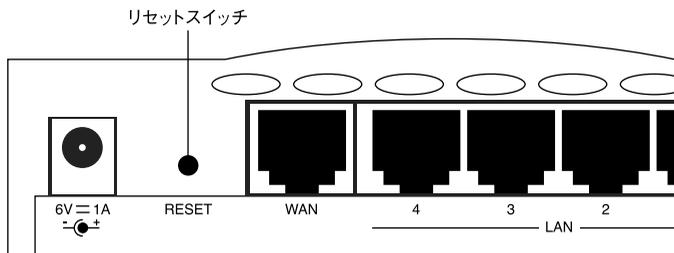


図1-5 リセットスイッチ

ハードウェアの接続

本

章では、本製品とADSL/ケーブルモデム、コンピュータとの接続手順について説明します。

1 設置場所について

本製品を設置するには必ず以下の点をお守りくださいますようお願いいたします。

湿気の多い場所に設置しないでください。

チリやほこりの多い場所には設置しないでください。

直射日光のあたる場所や温度の高い場所には設置しないでください。

内部に熱がこもる原因となりますので、周囲にはなるべく空間を空けてください。



注意

通風口にほこりなどがたまると内部に熱がこもる原因となります。定期的な点検を行い、ほこりがたまっているようでしたら掃除機等でほこりを取り除くようにしてください。

2 設置

本製品は、デスクトップ上などの平らな場所に設置して使ってください。

2

ハードウェアの接続

3 WAN側ポートにADSL/ケーブルモデムを接続する

1. ADSL/ケーブルモデムの電源を切ってください。
2. ストレートタイプのツイストペアケーブルで、本製品背面のWAN側ポートとADSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートを接続します。



図2-1 ADSL/ケーブルモデムとの接続



注意

本製品のWAN側ポートはMDIポートになっています。ご利用になっているADSL/ケーブルモデムのポートがMDIポートのときはクロスケーブルを使ってください。

4 LAN側ポートへのコンピュータの接続

1. ストレートタイプのツイストペアケーブルの一端を、本製品のLAN側ポートに接続します。
2. ツイストペアケーブルのもう一端をコンピュータのRJ-45ポートに接続します。

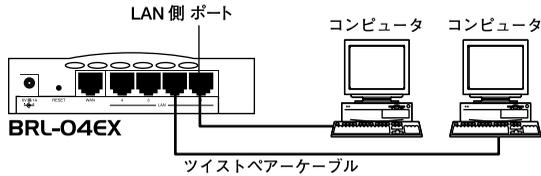


図2-2 コンピュータを接続

5 電源の接続

2

ハードウェアの接続

1. ADSL/ケーブルモデムおよびハブの電源を入れます。
2. 付属のACアダプタを本製品の電源コネクタに接続します。
3. ACアダプタをAC100Vコンセントに接続します。スペースの問題でコンセントに直接、ACアダプタを接続できないときは付属のショートケーブルをお使いください。
4. コンピュータの電源を入れてください。

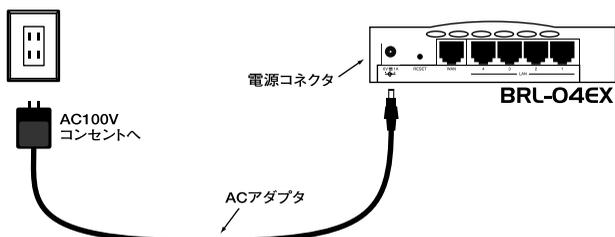


図2-3 電源の接続



注意

ACアダプタは必ず付属のものを使用してください。付属以外のACアダプタの使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外のACアダプタを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。

6 接続の確認

これまでの接続を行い本製品の電源を入れると本製品のPOWER、WAN、LAN Link/Actの各LED が点灯します。これらのLEDが点灯しないときは以下の点についてお確かめください。

POWER LED

- ・本製品付属のACアダプタを使っていますか？
- ・ACアダプタが本製品背面の電源コネクタにしっかりと接続されていますか？
- ・ACアダプタはAC100Vコンセントにしっかりと接続されていますか？

WAN LED

- ・ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のWAN側ポートおよびADSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？
- ・ADSL/ケーブルモデムの電源は入っていますか？

LAN Link/Act LED

- ・ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のLAN側ポートおよびハブまたはコンピュータのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？
- ・コンピュータの電源は入っていますか？

コンピュータの設定

本

章では本製品を使ったインターネットへのアクセスとWEBブラウザから設定するために必要なコンピュータの設定手順について説明します。コンピュータの設定を開始する前に、第2章「ハードウェアの接続」を参照して本製品とADSL/ケーブルモデム、コンピュータの接続を完了させておいてください。

1

Windows 95/98/Me

1. コンピュータにネットワークアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確かめてください。ネットワークアダプタがインストールされていないときは、ネットワークアダプタのインストールを行ってください。

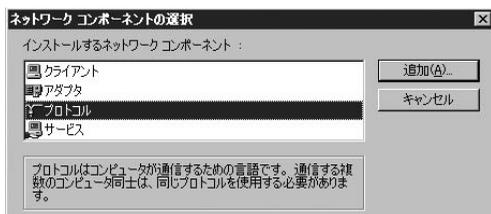
3

コンピュータの設定

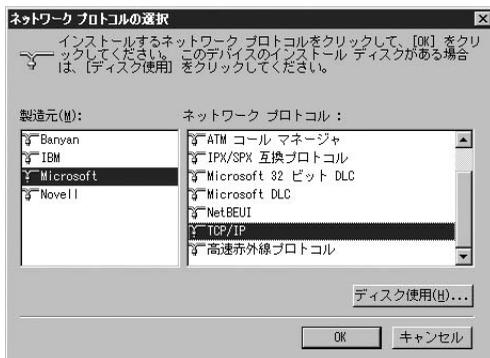
2. コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確かめます。「スタート」メニューから「設定」「コントロールパネル」「ネットワーク」と選択します。「現在のネットワーク構成」の欄に「TCP/IP」が表示されているか確かめてください。インストールされているときは手順5に進んでください。



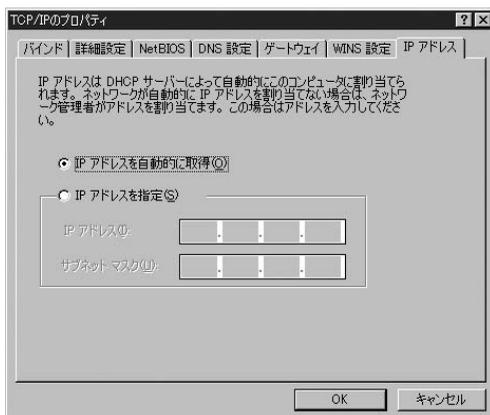
3. インストールされていないときは「追加」ボタンをクリックし、「インストールするネットワークコンポーネント」から「プロトコル」を選択して「追加」ボタンをクリックします。



4. ネットワークプロトコルの選択で「製造元」に「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」には「TCP/IP」を選択して「OK」ボタンをクリックします。ネットワークのプロパティの画面に戻ります。

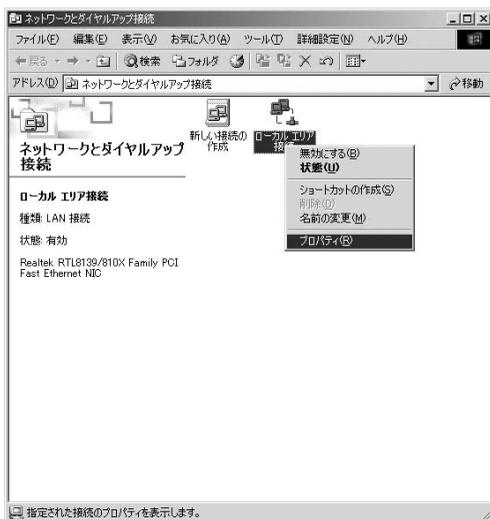


5. 「TCP/IP」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックします。「TCP/IPのプロパティ」画面が表示されるので、「IPアドレス」タブをクリックします。画面内の「IPアドレスを自動的に取得」オプションを選択し、コンピュータを再起動します。



2 Windows 2000

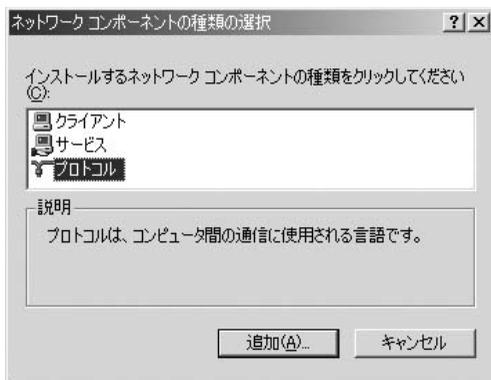
1. コンピュータにネットワークアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確かめてください。ネットワークアダプタがインストールされていないときは、ネットワークアダプタのインストールを行ってください。
2. コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確かめます。「スタート」メニューから「設定」「コントロールパネル」「ネットワークとダイヤルアップ接続」と選択します。
3. 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」を選択します。



4. 「ローカルエリア接続のプロパティ」に「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が表示されているか確かめてください。インストールされているときは手順7に進んでください。



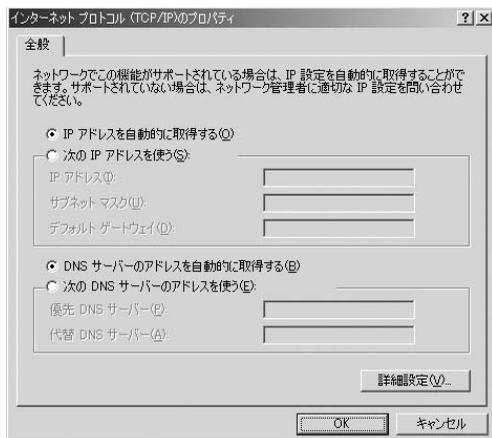
5. インストールされていないときは「インストール」ボタンをクリックし、「ネットワークコンポーネントの種類を選択」から「プロトコル」を選択して「追加」ボタンをクリックします。



6. 「ネットワークプロトコルの選択」で「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択して「OK」ボタンをクリックします。ローカルエリア接続のプロパティの画面に戻ります。



7. 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックします。「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面が表示されるので、「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」の2つのオプションを選択し「OK」ボタンをクリックします。



8. 「ローカルエリア接続のプロパティ」の画面に戻るのを閉じてください。

3 Windows XP

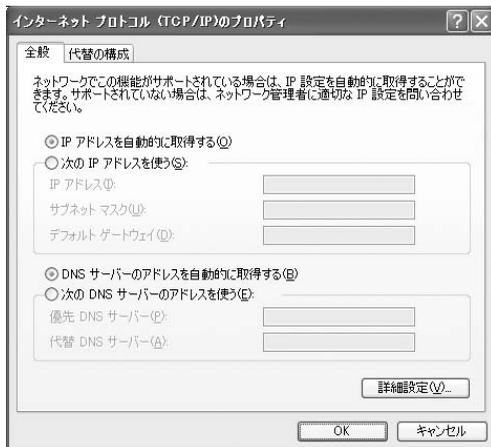
1. コンピュータにLANアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確かめてください。LANアダプタがインストールされていないときは、LANアダプタのインストールを行ってください。
2. コンピュータでTCP/IPプロトコルが有効になっていることを確かめます。「スタート」メニューを開き、「マイコンピュータ」を選択します。表示された「マイコンピュータ」ウィンドウの左側の「その他」の中にある「マイネットワーク」を右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。



3. 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択します。「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。「この接続は次の項目を使用します」の欄の「インターネットプロトコル(TCP/IP)」の左側のチェックボックスがチェックされているか確かめてください。チェックされていないときはチェックします。



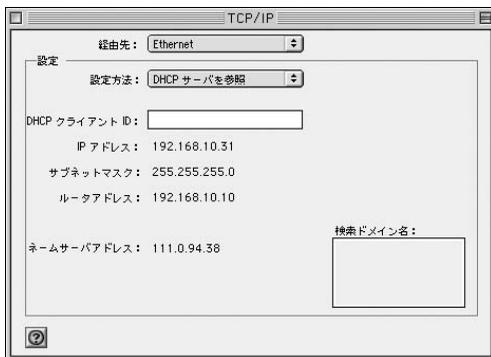
4. 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックします。「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面が表示されるので、「全般」タブをクリックします。画面内の「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」のオプションを選択し、「OK」ボタンをクリックします。



5. 「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウに戻ったら、「閉じる」ボタンをクリックします。

4 Macintosh

1. アップルメニューから「コントロールパネル」「TCP/IP」と選択します。
2. TCP/IPの設定ウィンドウの「設定方法」を「DHCPサーバを参照」に設定します。



3. TCP/IPの設定ウィンドウを閉じて、Macintoshを再起動します。

インターネット接続設定

本

章では本製品のインターネットへの接続手順について説明します。ここでは、必要最小限の設定だけで、本製品を経由したインターネットへのアクセスを行えるようにします。インターネット接続設定を開始する前に、第2章「ハードウェアの接続」および第3章「コンピュータの設定」を済ませておいてください。本製品をより詳細に設定したいときは、第5章「詳細設定」を参照します。

4

インターネット接続設定

1 インターネット接続方法の確認

本製品のインターネット接続の設定は、お客様が契約しているプロバイダとのサービス内容によって異なります。

次の中からお客様のプロバイダとの契約内容にあった接続方法を選択して、本製品の設定を行ってください。

PPPoE接続

NTT東日本株式会社/NTT西日本株式会社の「フレッツ・ADSL」および「Bフレッツ」や、東京めたりっく通信株式会社の「G-One(旧Single)」サービスなどで採用されている、PPPoEプロトコルを使う接続方法です。接続にはユーザ名(アカウント名)とパスワードが必要です。

33ページの「4-2 PPPoE接続の設定」に進んでください。

DHCP接続

多くのケーブルテレビインターネット接続サービスや、ヤフー株式会社の「Yahoo! BB」などのサービスで採用されている、DHCPプロトコルを使ってIPアドレスが自動に割り当てられる方法です。

39ページの「4-3 DHCP接続の設定」に進んでください。

固定IPアドレス接続

プロバイダから固定のIPアドレスが割り当てられるサービスでの接続方法です。

43ページの「4-4 固定IP接続の設定」に進んでください。

ブリッジモード

本製品をブリッジモードで使うときの設定です。

47ページの「4-5 ブリッジモードの設定」に進んでください。

4

インターネット接続設定

2 PPPoE接続の設定

注意

WEBブラウザから本製品にアクセスするには、フレーム表示に対応したブラウザを使用する必要があります。Netscape 6.0以降またはMicrosoft Internet Explorer 5.0以降のご使用を推奨します。また、ブラウザでプロキシを使用する設定がされていると設定画面が表示されません。Internet Explorerでは「表示(ツール)」、「インターネットオプション」、「接続」、「LANの設定」、Netscapeでは「編集」、「設定」、「詳細」にプロキシの設定項目があります。プロキシを使用しないように設定するか、もしくはプロキシの詳細設定画面で「次で始まるドメイン(アドレス)にはプロキシを使用しない」の欄に本製品のLAN側ポートのIPアドレスを入力してください。

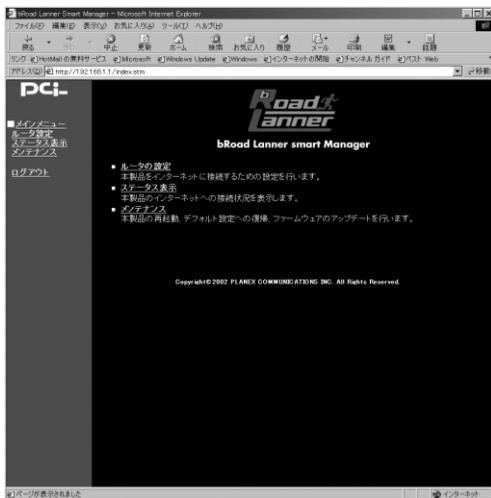
1. コンピュータが起動したら、WEBブラウザを起動します。
2. WEBブラウザのURLを入力する欄(Netscapeでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のIPアドレス(デフォルト値は「192.168.1.1」)を入力し、Enterキーを押します。
3. 本製品にログインするためのログイン画面が表示されます。工場出荷時のパスワードは「password」です。パスワード欄に「password」と入力して、「ログイン」ボタンをクリックします。



4

インターネット接続設定

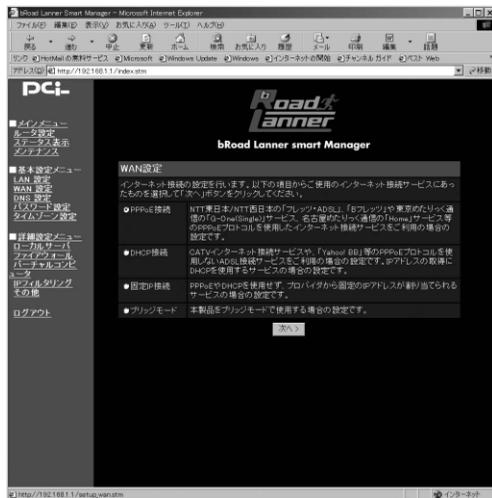
4. 本製品の設定画面が表示されます。



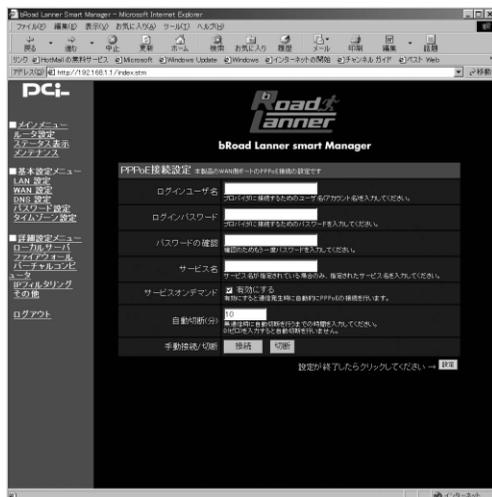
5. 画面左にあるメインメニューから「ルータ設定」をクリックします。基本設定メニューが表示されたら、「WAN設定」をクリックします。



6. WAN設定画面が表示されるので「PPPoE接続」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



7. PPPoE接続の設定画面が表示されます。



「ログインユーザ名」

プロバイダから指定されたPPPoE接続のユーザ名(アカウント名)を入力します。

「ログインパスワード」

プロバイダから指定されたPPPoE接続のパスワードを入力します。

「パスワードの確認」

確認のためパスワードをもう一度入力します。

「サービス名」

プロバイダによってはPPPoE接続のサービス名が指定されることがあります。このときは指定されたサービス名を入力します。サービス名の指定がないときは空白のままかまいません。

「サービスオンデマンド」

有効にするをチェックすると、PPPoE接続が切断されていても通信発生時に自動でPPPoE接続されます。

「自動切断(分)」

ここで設定した時間、インターネットへの通信がない状態が続くとPPPoE接続を自動切断します。自動切断を行わないときは“0”を設定します。

「手動接続/切断」

「接続」ボタンを押すとPPPoE接続が開始されます。「切断」ボタンを押すとPPPoE接続が切断されます。

8. プロバイダからDNS(ドメインネームサーバ)アドレスが指定されていないときは設定は終了です。「接続」ボタンをクリックして手順10に進んでください。DNSアドレスが指定されているときは「設定」ボタンをクリックして、次のDNSアドレスの設定を行ってください。
9. DNS設定画面が表示されます。DNSアドレスを入力して「設定」ボタンをクリックします。



「プライマリDNSサーバ」

プロバイダから指定されたDNSサーバアドレスを入力します。

「セカンダリDNSサーバ」

プロバイダから2個以上のDNSサーバアドレスが指定されているときは、指定された2個目のDNSサーバアドレスを入力します。

10. 画面左側のメインメニューから「ステータス表示」をクリックします。ステータス表示画面が表示されるので、PPPoE接続が成功しているか確かめてください。PPPoE接続が成功しないときは、ユーザ名、パスワードなどの設定に間違いがないか確かめてください。



注意

コンピュータにプロバイダから配布されるPPPoE接続ソフトウェアをインストールする必要はありません。インストールしてある場合は、アンインストールするか、そのソフトの自動接続機能を無効にしてください。

4

インターネット接続設定

3 DHCP接続の設定

注意

WEBブラウザから本製品にアクセスするには、フレーム表示に対応したブラウザを使用する必要があります。Netscape 6.0以降またはMicrosoft Internet Explorer 5.0以降のご使用を推奨します。また、ブラウザでプロキシを使用する設定がされていると設定画面が表示されません。Internet Explorerでは「表示(ツール)」、「インターネットオプション」、「接続」、「LANの設定」、Netscapeでは「編集」、「設定」、「詳細」にプロキシの設定項目があります。プロキシを使用しないように設定するか、もしくはプロキシの詳細設定画面で「次で始まるドメイン(アドレス)にはプロキシを使用しない」の欄に本製品のLAN側ポートのIPアドレスを入力してください。

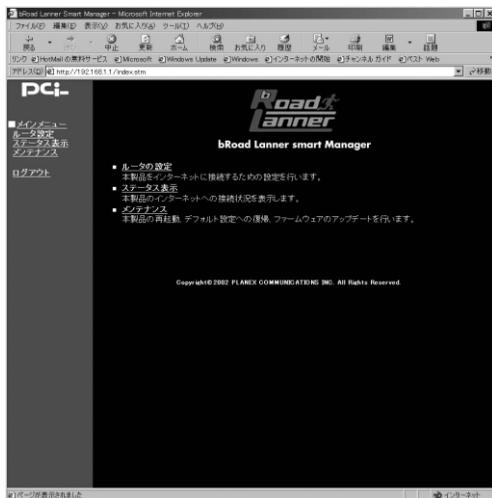
1. コンピュータが起動したら、WEBブラウザを起動します。
2. WEBブラウザのURLを入力する欄(Netscapeでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のIPアドレス(デフォルト値は「192.168.1.1」)を入力し、Enterキーを押します。
3. 本製品にログインするためのログイン画面が表示されます。工場出荷時のパスワードは「password」です。パスワード欄に「password」と入力して、「ログイン」ボタンをクリックします。



4

インターネット接続設定

4. 本製品の設定画面が表示されます。



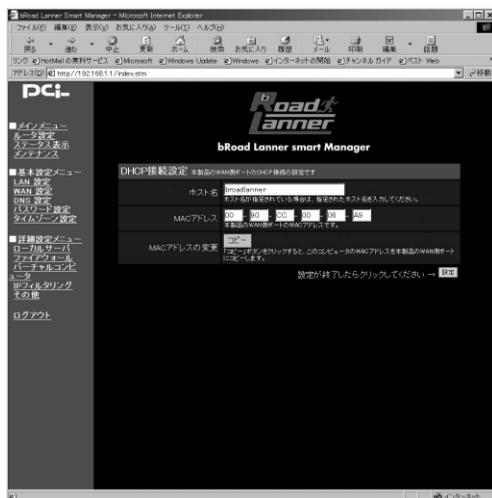
5. 画面左にあるメインメニューから「ルータ設定」をクリックします。基本設定メニューが表示されたら、「WAN設定」をクリックします。



6. WAN設定画面が表示されるので「DHCP接続」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



7. DHCP接続の設定画面が表示されます。



「ホスト名」

通常は変更する必要はありませんが、プロバイダによってはホスト名が指定されていることがあります。このときは指定されたホスト名を入力します。

「MACアドレス」

本製品の現在のWAN側ポートのMACアドレスが表示されます。

「MACアドレスの変更」

「コピー」ボタンをクリックすると、本製品のWAN側ポートのMACアドレスに、現在設定するためにアクセスしているコンピュータのMACアドレスをコピーできます。ADSL/ケーブルモデムに接続する機器のMACアドレスの登録が必要なプロバイダのときには、すでに登録しているコンピュータのMACアドレスをコピーし、登録の変更をすることなくご利用いただけます。

8. 設定が終わったら「設定」ボタンをクリックします。設定が保存されます。
9. 画面左側のメインメニューから「ステータス表示」をクリックします。ステータス表示画面が表示されるので、IPアドレスの取得に成功しているか確かめてください。

4 固定IP接続の設定

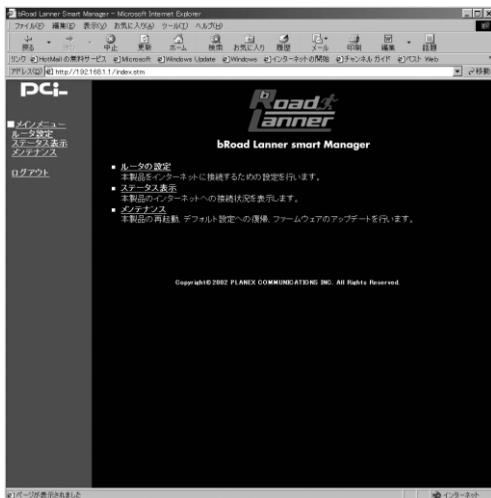
注意

WEBブラウザから本製品にアクセスするには、フレーム表示に対応したブラウザを使用する必要があります。Netscape 6.0以降またはMicrosoft Internet Explorer 5.0以降のご使用を推奨します。また、ブラウザでプロキシを使用する設定がされていると設定画面が表示されません。Internet Explorerでは「表示(ツール)」、「インターネットオプション」、「接続」、「LANの設定」、Netscapeでは「編集」、「設定」、「詳細」にプロキシの設定項目があります。プロキシを使用しないように設定するか、もしくはプロキシの詳細設定画面で「次で始まるドメイン(アドレス)にはプロキシを使用しない」の欄に本製品のLAN側ポートのIPアドレスを入力してください。

1. コンピュータが起動したら、WEBブラウザを起動します。
2. WEBブラウザのURLを入力する欄(Netscapeでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のIPアドレス(デフォルト値は「192.168.1.1」)を入力し、Enterキーを押します。
3. 本製品にログインするためのログイン画面が表示されます。工場出荷時のパスワードは「password」です。パスワード欄に「password」と入力して、「ログイン」ボタンをクリックします。



4. 本製品の設定画面が表示されます。



5. 画面左にあるメインメニューから「ルータ設定」をクリックします。基本設定メニューが表示されたら、「WAN設定」をクリックします。



6. WAN設定画面が表示されるので「固定IP接続」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



7. 固定IP接続設定画面が表示されます。



「WAN側IPアドレス」

プロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。

「WAN側サブネットマスク」

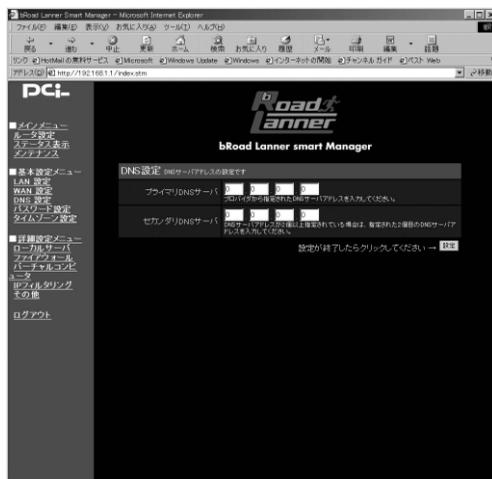
プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力します。

「WAN側デフォルトゲートウェイ」

プロバイダから指定されたデフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。

8. 設定が終わったら「設定」ボタンをクリックします。

9. 続いてDNS(ドメインネームサーバ)アドレスの設定を行います。DNS設定画面が表示されるので、DNSアドレスを入力します。



「プライマリDNSサーバ」

プロバイダから指定されたDNSサーバアドレスを入力します。

「セカンダリDNSサーバ」

プロバイダから2個以上のDNSサーバアドレスが指定されているときは、指定された2個目のDNSサーバアドレスを入力します。

10. 設定が終わったら「設定」ボタンをクリックします。

11. 画面左側のメインメニューから「ステータス表示」をクリックします。ステータス表示画面が表示されるので、設定したIPアドレスとDNSアドレスが表示されているか確かめてください。

5 ブリッジモードの設定



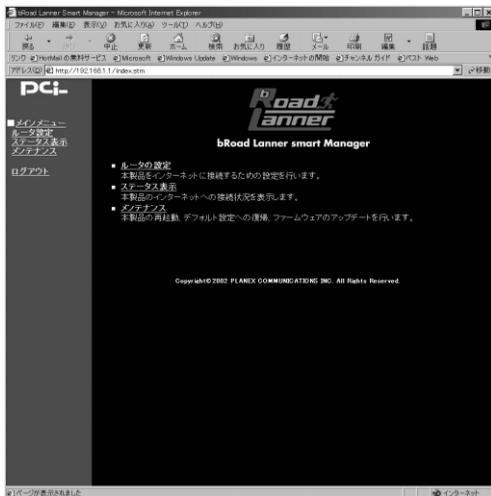
注意

WEBブラウザから本製品にアクセスするには、フレーム表示に対応したブラウザを使用する必要があります。Netscape 6.0以降またはMicrosoft Internet Explorer 5.0以降のご使用を推奨します。また、ブラウザでプロキシを使用する設定がされていると設定画面が表示されません。Internet Explorerでは「表示(ツール)」、「インターネットオプション」、「接続」、「LAN の設定」、Netscapeでは「編集」、「設定」、「詳細」にプロキシの設定項目があります。プロキシを使用しないように設定するか、もしくはプロキシの詳細設定画面で「次で始まるドメイン(アドレス)」にはプロキシを使用しない」の欄に本製品のLAN側ポートのIPアドレスを入力してください。

1. コンピュータが起動したら、WEBブラウザを起動します。
2. WEBブラウザのURLを入力する欄(Netscapeでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のIPアドレス(デフォルト値は「192.168.1.1」)を入力し、Enterキーを押します。
3. 本製品にログインするためのログイン画面が表示されます。工場出荷時のパスワードは「password」です。パスワード欄に「password」と入力して、「ログイン」ボタンをクリックします。



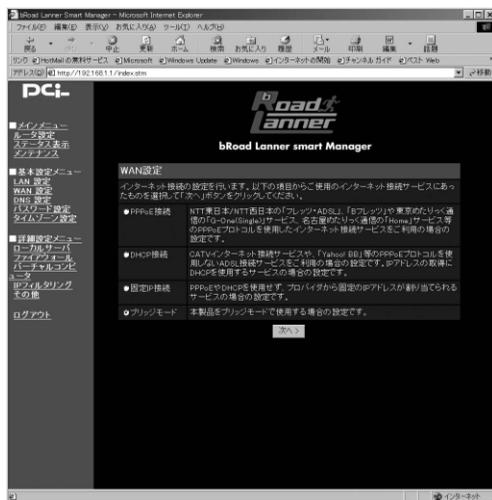
4. 本製品の設定画面が表示されます。



5. 画面左にあるメインメニューから「ルータ設定」をクリックします。基本設定メニューが表示されたら、「WAN設定」をクリックします。基本設定メニューが表示されたら、「WAN設定」をクリックします。



6. WAN設定画面が表示されるので「ブリッジモード」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



7. ブリッジモード設定画面が表示されます。



「IP アドレス」

プロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。

8. 設定が終わったら「設定」ボタンをクリックします。設定が保存されます。
9. 画面左側のメインメニューから「ステータス表示」をクリックします。ステータス表示画面が表示されるので、IPアドレスの設定が正しいか確かめてください。

4

インターネット接続設定

6 接続の確認

コンピュータ上でWEBブラウザを起動し、任意のURLを入力し、ページが表示されるか確かめてください。表示されないときは、プロバイダから指定されている設定をよく確かめて、もう一度「インターネット接続設定」をやり直します。それでも接続できないときは、「付録A.トラブルシューティング」を参照します。

詳細設定

こ

ここでは、WEBブラウザを使用して本製品の各機能の詳細な設定を行う手順を説明します。



注意

WEBブラウザから本製品にアクセスするには、フレーム表示に対応したブラウザをご利用になる必要があります。Netscape 6.0以降またはMicrosoft Internet Explorer 5.0以降のご利用を推奨します。また、ブラウザでプロキシを使う設定になっていると設定画面が表示されません。Internet Explorerでは「表示(ツール)」、「インターネットオプション」、「接続」、「LANの設定」、Netscapeでは「編集」、「設定」、「詳細」にプロキシの設定項目があります。プロキシを使わない設定にするか、もしくはプロキシの詳細設定画面で「次で始まるドメイン(アドレス)にはプロキシを使用しない」の欄に本製品のLAN側ポートのIPアドレスを入力します。

5

詳細設定

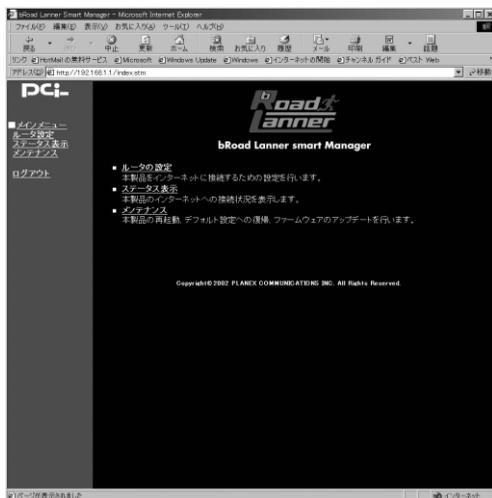
1 設定画面を開く

1. コンピュータが起動したら、WEBブラウザを起動します。
2. WEBブラウザのURLを入力する欄(Netscapeでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のIPアドレス(デフォルト値は「192.168.1.1」)を入力し、Enterキーを押します。

3. 本製品にログインするためのログイン画面が表示されます。パスワード欄にパスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックします。工場出荷時の状態ではパスワードは「password」です。



4. 本製品の設定画面が表示されます。



2 管理者パスワードの設定

本製品の管理者パスワードはデフォルトでは「password」に設定されています。本製品のご利用に際してはセキュリティ上、管理者パスワードの変更を推奨します。管理者パスワードを変更するには、メインメニューの「ルータ設定」をクリックして表示される基本設定メニューから「パスワード設定」をクリックします。



「現在のパスワード」

現在ルータに設定されているパスワードを入力します。

「新しいパスワード」

新しいパスワードを入力します。パスワードの最大長は半角文字で12文字です。

「パスワードの確認」

確認のため新しいパスワードをもう一度入力します。

設定が終了したら、「設定」ボタンをクリックします。

3 タイムゾーンの設定

本製品のタイムゾーンの設定を行います。ここで設定したタイムゾーンはログの記録とIPフィルタに使われます。管理者パスワードを変更するには、メインメニューの「ルータ設定」をクリックして表示される基本設定メニューから「タイムゾーン設定」をクリックします。



「タイムゾーン」

タイムゾーンを設定します。日本国内のときは「(GMT+09:00)大阪、札幌、東京」を選択します。

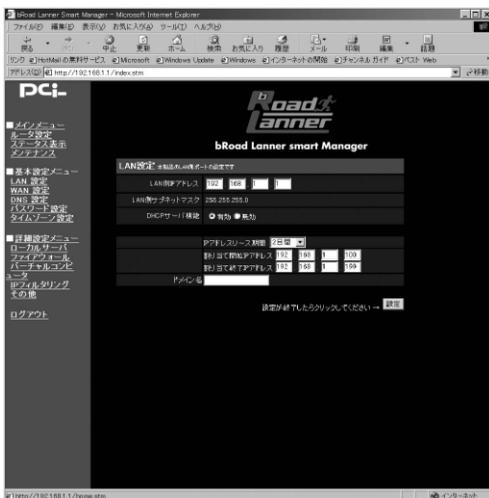
「サマータイム」

サマータイムを適用するときに選択します。

設定が終了したら、「設定」ボタンをクリックします。

4 LANポートの設定

本製品のLANポートのIP設定とDHCPサーバ機能の設定を行います。LANポートを設定するには、メインメニューの「ルータ設定」をクリックして表示される基本設定メニューから「LAN設定」をクリックします。



「LAN側IPアドレス」

LAN側ポートに設定するIPアドレスを入力します。デフォルトでは「192.168.1.1」に設定されています。

「LAN側サブネットマスク」

LAN側ポートのサブネットマスクです。デフォルトでは「255.255.255.0」に設定されています。

「DHCPサーバ機能」

DHCPサーバ機能を使うと、LAN側のコンピュータに自動でIPアドレスが割り当てられます。これにより、LAN側ネットワークのコンピュータにIPアドレスを手動で設定する必要がなくなります。

DHCPサーバ機能を使うときは「有効」を選択します。DHCPサーバ機能を使わないときは「無効」を選択します。

「IPアドレスリース期間」

定期的にIPアドレスを割り当てる期間を設定します。

5

詳細設定

「割り当て開始アドレス」

DHCPサーバ機能によって、割り当てるIPアドレス範囲の開始アドレスを設定します。本製品のLAN側ポートのIPアドレスが割り当て範囲内に含まれないように設定します。

「割り当て終了アドレス」

DHCPサーバ機能によって、割り当てるIPアドレス範囲の終了アドレスを設定します。

「ドメイン名」

特に必要がない限り設定しません。

ご利用のインターネット接続サービスでドメイン名の設定が必要なときや、LAN上でドメイン名を使っているときは、ここにドメイン名を入力します。この設定をすると本製品のDHCPサーバ機能によってIPアドレスが自動設定される際に、ドメイン名もパソコンに設定されます。

プロバイダからドメイン名を指定されているときは、指定されたドメイン名を入力します。

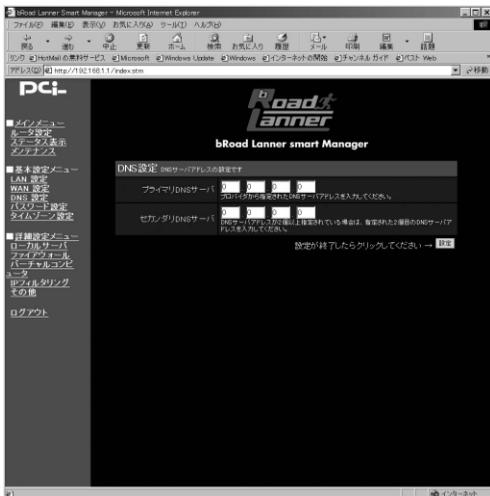
設定が終了したら「設定」ボタンをクリックします。

**注意**

- 1.DHCPサーバで割り当てるIPアドレスには本製品のLAN側ポートのIPアドレスと同じネットワークアドレスを設定してください。例えば、LAN側ポートのIPアドレスを192.168.10.1に設定した場合は、割り当て範囲は192.168.10.x(xは1以外)に設定してください。
- 2.DHCPサーバ機能を「無効」に設定した場合は、LAN側ネットワーク上のすべてのコンピュータのIPアドレスを手動で設定してください。

5 DNS設定

DNS(ドメインネームサーバ)アドレスの設定を行います。DNSアドレスを設定するには、メインメニューの「ルータ設定」をクリックして表示される基本設定メニューから「DNS設定」をクリックします。



「プライマリDNSサーバ」

プロバイダから指定されたDNSサーバアドレスを入力します。

「セカンダリDNSサーバ」

プロバイダから2個以上のDNSサーバアドレスが指定されているときは、指定された2個目のDNSサーバアドレスを入力します。

設定が終わったら「設定」ボタンをクリックします。

6 WANポートの設定

WANポートの設定を変更するには、メインメニューの「ルータ設定」をクリックして表示される基本設定メニューから「WAN設定」をクリックします。本製品はWAN側ポートの接続方法に、「PPPoE接続」、「DHCP接続」、「固定IP接続」、「ブリッジモード」の4種類に対応しています。



ご利用のプロバイダのサービスにあった接続方法を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

PPPoE接続の設定



「ログインユーザ名」

プロバイダから指定されたPPPoE接続のユーザ名(アカウント名)を入力します。

「ログインパスワード」

プロバイダから指定されたPPPoE接続のパスワードを入力します。

「パスワードの確認」

確認のためパスワードをもう一度入力します。

「サービス名」

プロバイダによってはPPPoE接続のサービス名が指定されることがあります。このときは指定されたサービス名を入力します。サービス名の指定がないときは空白のままでもかまいません。

「サービスオンデマンド」

有効にするをチェックすると、PPPoE接続が切断されていても通信発生時に自動でPPPoE接続されます。

「自動切断(分)」

ここで設定した時間、インターネットへの通信がない状態が続くとPPPoE接続を自動切断します。自動切断を行わないときは“0”を設定します。

「手動接続/切断」

「接続」ボタンを押すとPPPoE接続が開始されます。「切断」ボタンを押すとPPPoE接続が切断されます。

設定が終了したら「設定」ボタンをクリックします。

DHCP 接続の設定



「ホスト名」

通常は変更する必要はありませんが、プロバイダによってはホスト名が指定されていることがあります。このときは指定されたホスト名を入力します。

「MACアドレス」

本製品の現在のWAN側ポートのMACアドレスが表示されます。

「MACアドレスの変更」

「コピー」ボタンをクリックすると、本製品のWAN側ポートのMACアドレスに、現在設定するためにアクセスしているコンピュータのMACアドレスをコピーすることができます。ADSL/ケーブルモデムに接続する機器のMACアドレスの登録が必要なプロバイダのときには、すでに登録しているコンピュータのMACアドレスをコピーし、登録の変更をすることなくご利用いただけます。

設定が終了したら「設定」ボタンをクリックします。

固定IP接続の設定



「WAN側IPアドレス」

プロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。

「WAN側サブネットマスク」

プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力します。

「WAN側デフォルトゲートウェイ」

プロバイダから指定されたデフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。

設定が終了したら「設定」ボタンをクリックします。

ブリッジモードの設定



「IPアドレス」

プロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。

設定が終了したら「設定」ボタンをクリックします。

5

詳細設定

7 ローカルサーバ機能

ローカルサーバ機能とは、LAN側に接続したサーバを、インターネット (WAN)側からアクセスできる機能です。バーチャルコンピュータ機能がインターネット側からのすべての通信を1台のコンピュータに転送するのに対して、ローカルサーバ機能では、TCP/UDPプロトコルのポート番号ごとに転送先のローカルIPアドレスを設定できます

ローカルサーバ機能を設定するには、メインメニューの「ルータ設定」をクリックして表示される詳細設定メニューから「ローカルサーバ」をクリックします。

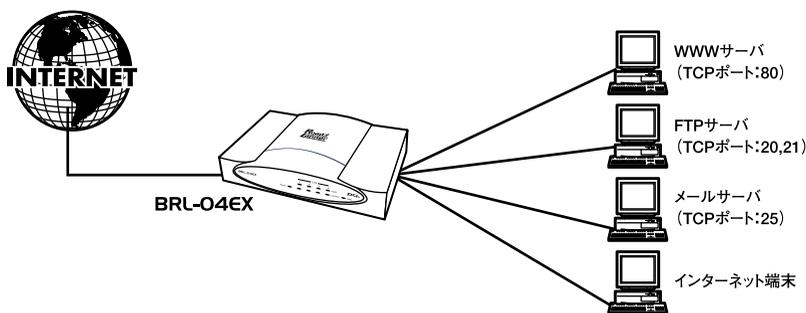
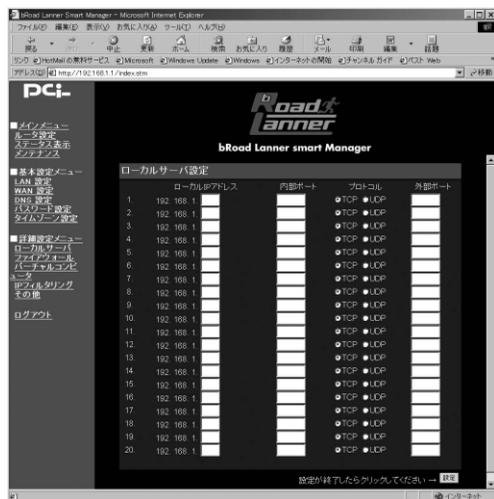


図5-1 ローカルサーバ

5

詳細設定



「ローカルIPアドレス」

インターネット側からのアクセスが転送されるLAN側コンピュータのIPアドレスを入力します。ローカルサーバに設定するコンピュータは固定のIPアドレスを使うことを推奨します。

「内部ポート」

インターネット側からのアクセスが転送されるLAN側コンピュータのサービス(アプリケーション)のポート番号を入力します。

通常は外部ポートと同じ番号を入力します。

「プロトコル」

インターネット側からアクセスしたいサービス(アプリケーション)のプロトコルをTCPまたはUDPから選択します。

「外部ポート」

インターネット側からアクセスしたいサービス(アプリケーション)のポート番号を入力します。

設定が終了したら「設定」ボタンをクリックします。

例：WEBサーバの公開

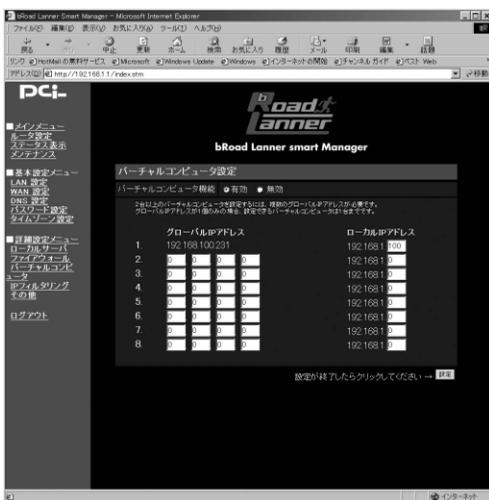
LAN側のコンピュータ(IPアドレス：192.168.1.100)でWEBサーバを公開するときは、「プロトコル」にTCP、「内部ポート」および「外部ポート」に80を設定します。「ローカルIPアドレス」には公開するコンピュータのIPアドレス(192.168.1.100)を入力します。

設定したWEBサーバにインターネットからアクセスするには、WEBブラウザのアドレス(URL)入力欄に本製品のWAN側ポートのIPアドレスを入力します。

8 バーチャルコンピュータ機能 (DMZ)

バーチャルコンピュータ機能とは、LAN側のコンピュータをインターネット(WAN)側からアクセスする機能で、DMZ(DeMilitarized Zone)とよばれることもあります。バーチャルコンピュータを設定すると、インターネットから、設定したグローバルIPアドレスへ送られてくる不明なパケットはすべてバーチャルコンピュータに転送されます。

複数のグローバルIPアドレスが割り当てられるインターネット接続サービスをご利用のときは、最大8台までのバーチャルコンピュータを設定できます。バーチャルコンピュータを設定するには、メインメニューの「ルータ設定」をクリックして表示される詳細設定メニューから「バーチャルコンピュータ」をクリックします。



注意

バーチャルコンピュータ機能を有効にすると、バーチャルコンピュータに設定したコンピュータに対してセキュリティが無効な状態になります。バーチャルコンピュータ機能は、必要時以外は無効にしておくことを推奨します。

「バーチャルコンピュータ機能」

バーチャルコンピュータ機能を使うときは「有効」を選択します。バーチャルコンピュータ機能を使わないときは「無効」を選択します。

「グローバルIPアドレス」

設定したバーチャルコンピュータにインターネット側からアクセスする時に使うグローバルIPアドレスを入力します。1台目のバーチャルコンピュータのときは、本製品のWAN側ポートのIPアドレスが使われるので入力する必要はありません。

「ローカルIPアドレス」

バーチャルコンピュータに設定するLAN側のコンピュータのIPアドレスを入力します。バーチャルコンピュータに設定するコンピュータは固定のIPアドレスのご利用をお奨めします。

設定が終了したら「設定」ボタンをクリックします。

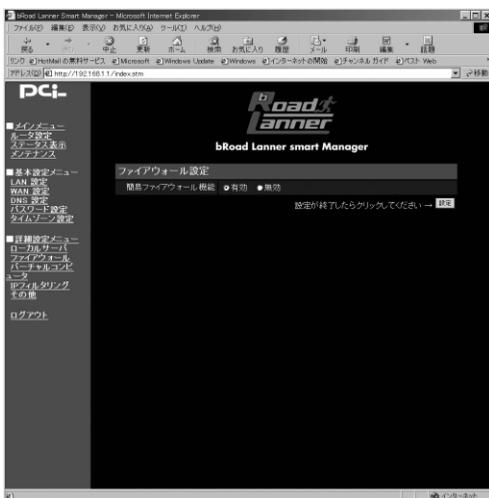
9 ファイアウォール設定

本製品は簡易ファイアウォール機能を装備しています。簡易ファイアウォール機能ではインターネット(WAN)側からの次のような攻撃を検出し、これを遮断します。

検出できる攻撃：「IP Spoofing」「TCP Null Scan」「TCP SYN Flooding」「Snork Attack」「UDP Port Loopback」「Smurf Attack」「Zero Length IP」「Ping of Death」

検出した攻撃は、ステータス画面のセキュリティログに表示されます。

ファイアウォール機能を設定するには、メインメニューの「ルータ設定」をクリックして表示される詳細設定メニューから「ファイアウォール」をクリックします。



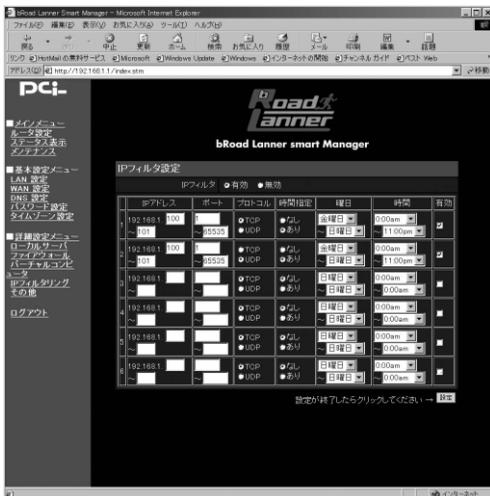
「簡易ファイアウォール機能」

簡易ファイアウォール機能を使うときは「有効」を選択します。簡易ファイアウォール機能を使わないときは「無効」を選択します。

設定が終了したら「設定」ボタンをクリックします。

10 IPフィルタ設定

本製品のフィルタ機能では、LAN側の特定のユーザのWEB参照やE-mailなどの特定のインターネットサービスを曜日や時間を指定して制限できます。フィルタ機能を設定するには、メインメニューの「ルータ設定」をクリックして表示される詳細設定メニューから「IPフィルタリング」をクリックします。



「IPフィルタ」

IPフィルタ機能を使うときは「有効」を選択します。IPフィルタ機能を使わないときは「無効」を選択します。

「IPアドレス」

インターネットへのアクセスを制限したいLAN側のコンピュータのIPアドレス範囲を入力します。

「ポート」

インターネットへのアクセスを制限したいサービスのポート番号範囲を入力します。

「プロトコル」

インターネットへのアクセスを制限したいサービスのプロトコルをTCPまたはUDPから選択します。

「時間指定」

時間指定してインターネットへのアクセスを制限するときは「あり」を選択します。時間指定をしないときは「なし」を選択します。

「曜日」

時間指定で「あり」を選択したときは、アクセス制限を開始する曜日と終了する曜日を選択します。

「時間」

時間指定で「あり」を選択したときは、アクセス制限を開始する時間と終了する時間を選択します。

「有効」

設定したフィルタを有効にするときにチェックします。

設定が終了したら「設定」ボタンをクリックします。

11 その他の設定

自動ログアウトやWAN側からのログインなどの設定を行うには、メインメニューの「ルータ設定」をクリックし、現れた「詳細設定メニュー」の「その他」をクリックします。

全ての設定が終わりましたら「設定」ボタンをクリックしてください。



「管理者タイムアウト(分)」

ログイン後、設定した時間操作が行われないと自動でログアウトします。

「WAN側のpingへの応答」

チェックするとインターネットからのWAN側ポートへのpingに応答しません。

「WAN側からの設定」

設定画面へのインターネット(WAN)側からのログインを許可するとき、チェックします。ただし、ログインするとき、WEBブラウザへのURL入力は、IPアドレスだけでなくポート番号(8080)も一緒に入力してください。

例えば、WAN側IPアドレスが「192.168.10.1」になっているとき、「http://192.168.10.1:8080/」になります。

「WAN側管理ホスト」

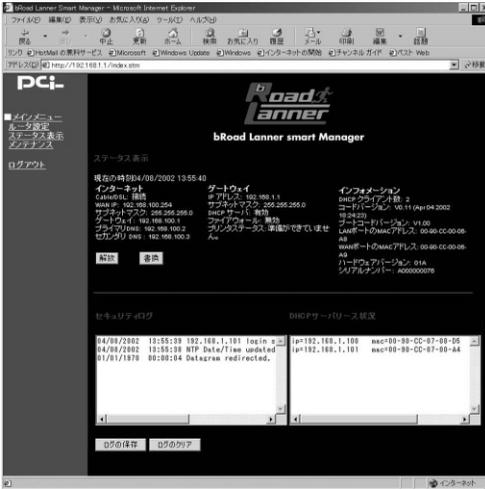
設定画面へのWAN側からのログインを許可するホストを制限したいとき、そのホストのIPアドレスを入力します。

設定が終了したら「保存」ボタンをクリックします。

12 ステータス表示

ステータス表示画面では、本製品のWAN側ポートの接続状況、LAN側ポートの設定、WAN側の攻撃検出ログ、DHCPサーバ機能のリース状況などの情報を表示します。

ステータスを表示するには、メインメニューから「ステータス表示」をクリックします。



「解放」ボタン

WAN側ポートの接続がDHCP接続のときにIPアドレスを解放します。

「書換」ボタン

WAN側ポートの接続がDHCP接続のときにIPアドレスを更新します。

「ログの保存」ボタン

セキュリティログの内容をファイルに保存します。

「ログのクリア」ボタン

セキュリティログの内容を消去します。

13 再起動

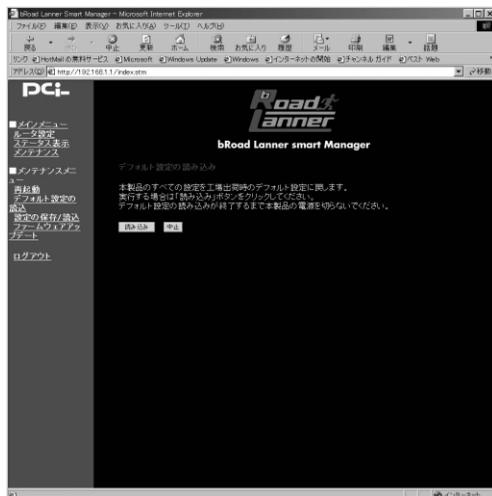
本製品を再起動するときは、メインメニューの「メンテナンス」をクリックして表示されるメンテナンスメニューから「再起動」をクリックします。



「リセット」ボタン
本製品の再起動を行います。

14 デフォルト設定の読み込み

「デフォルト設定の読込」で、本製品の設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻すことができます。デフォルト設定で復帰させるときは、メインメニューの「メンテナンス」をクリックして表示されるメンテナンスメニューから「デフォルト設定の読込」をクリックします。



「読み込み」ボタン

デフォルト設定を読み込んで再起動します。

5

詳細設定

15 設定情報の保存/読み込み

本製品の設定情報はファイルへの保存や、ファイルから読み込むことができます。

設定情報の保存/読み込みを実行するときは、メインメニューの「メンテナンス」をクリックして表示されるメンテナンスメニューから「設定の保存/読込」をクリックします。



設定情報ファイルの読み込み

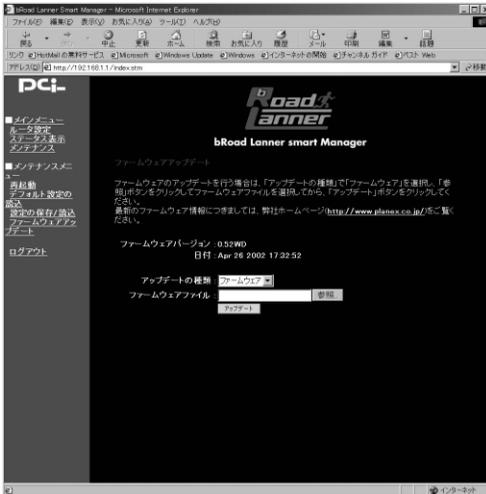
「読み込み」ボタンをクリックします。設定の読み込み画面が表示されるので「設定情報ファイル」に読み込む設定ファイルをフルパスで入力します。または「参照」ボタンをクリックして設定ファイルを選択します。ファイルを指定したら、「読み込み」ボタンをクリックします。設定ファイルが読み込まれ本製品が再起動します。

設定情報のファイルへの保存

「保存」ボタンをクリックします。ファイルのダウンロードウィンドウが表示されるので、ファイルを保存します。

16 ファームウェアのアップデート

本製品のファームウェアはWEBブラウザからアップデートできます。ファームウェアをアップデートするときは、メインメニューの「メンテナンス」をクリックして表示されるメンテナンスメニューから「ファームウェアアップデート」をクリックします。



本製品のファームウェアには「ファームウェア本体」と「ユーザインターフェース」の2種類があります。「アップデートの種類」で「ファームウェア」または「インタフェース」を選択し、「ファームウェアファイル」欄でファームウェアファイルをフルパスで入力します。または「参照」ボタンをクリックしてファームウェアファイルを選択します。

ファームウェアファイルを選択したら、「アップデート」ボタンをクリックします。ファームウェアが読み込まれ本製品が再起動します。



注意

最新のファームウェア情報につきましては、弊社ホームページ(<http://www.planex.co.jp/>)をご覧ください。

トラブルシューティング

POWER LEDが点灯しない

本製品付属のACアダプタをお使いになっていますか？
ACアダプタが本製品背面の電源コネクタにしっかりと接続されていますか？

WAN LEDが点灯しない

LANケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のWAN側ポートおよびADSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？
ADSL/ケーブルモデムの電源は入っていますか？

LAN Link/Act LEDが点灯しない

LANケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のLAN側ポートおよびハブまたはコンピュータのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？
コンピュータの電源は入っていますか？

WEB設定画面が表示されない

コンピュータのネットワークアダプタは正常に動作していますか？コンピュータまたはネットワークアダプタのマニュアルを参照してネットワーク設定を確かめてください。
コンピュータのTCP/IPの設定に間違いがあることも考えられます。IPを自動取得（DHCPサーバでの設定）する設定にします。
お使いになっているWEBブラウザで、プロキシが設定されていると設定画面が表示されません。プロキシを使わない設定にします。Internet Explorerでは「表示（ツール）」、「インターネットオプション」、「接続」、Netscapeでは「編集」、「設定」、「詳細」にプロキシの設定項目があります。

コンピュータがIPアドレスを取得できていないことも考えられます。WindowsではDOSプロンプトから、ipconfigコマンドを実行するとIPアドレスが表示されています。Macintoshではアップルメニューから「コントロールパネル」「TCP/IP」を開いて、IPアドレスの欄にIPが割り振られてるか確かめてください。コンピュータがIPアドレスを取得できてないときは、コンピュータを再起動します。(デフォルト設定時は192.168.1.xxx がIPアドレスに割り当てられます。)

インターネットにアクセスできない

WAN側のIP設定に間違いがあることも考えられます。

プロバイダから受け取っているIP設定の資料をよく確かめ、「第4章 インターネット接続設定」をやり直します。

DNSサーバの設定に間違いがあることも考えられます。

DHCPサーバ機能を利用されているときはプロバイダから受け取っているIP設定の資料をよく確かめ、「第4章 インターネット接続設定」をやり直します。

DHCPサーバ機能を利用していないときはプロバイダから受け取っているIP設定の資料をよく確かめ、コンピュータのDNSサーバ設定を確かめてください。

IPフィルタが設定されていませんか？

IPフィルタの設定を確かめてください。

IPアドレス、またはパスワードを忘れてしまった

本製品の管理者パスワードを忘れてしまい、設定画面にログインできなくなってしまうときは、「1-6 設定の初期化」を参照し、IPアドレス、またはパスワードを工場出荷時の状態に戻します。

MACアドレスがわからない

本製品のMACアドレスは本体底面のシールに印刷されています。Node ID：の後の12桁の文字列が本製品のMACアドレスです。MACアドレスはLAN側ポートとWAN側ポートで異なりますので注意してください。プロバイダへMACアドレスの申請が必要なときはWAN側ポートのMACアドレスを申請してください。または、本製品のMACアドレス変更機能をお使いください。

デフォルト設定

本

製品の工場出荷時のデフォルト設定は以下のようになっています。デフォルト設定の読み込みを行った場合も、以下の設定が読み込まれます。

項目		設定内容
LAN側	IPアドレス	192.168.1.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
WAN側	接続方法	DHCP接続
	DHCPクライアント	有効
	IPアドレス	0.0.0.0
	サブネットマスク	0.0.0.0
	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
DHCPサーバ	DHCPサーバ	有効
	DHCP IP割り当て範囲	192.168.1.100~199
	DNSアドレス (1)	0.0.0.0
	DNSアドレス (2)	0.0.0.0
パスワード	password	
インターネットからの設定	無効	
ドメイン名	未設定	
ホスト名	broadlanner	
NAT	有効	
ローカルサーバ	なし	
バーチャルコンピュータ	なし	
フィルタ設定	なし	

仕様

無線部

< 準拠する標準 >

LAN側IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX

WAN側IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX

< 伝送速度 >

LAN側10/100Mbps WAN側10/100Mbps

< ポート >

LAN側10BASE-T/100BASE-TX RJ-45 × 4ポート

WAN側10BASE-T/100BASE-TX RJ-45 × 1ポート

< ネットワークケーブル >

10BASE-T カテゴリ3以上ツイストペアケーブル (100m)

100BASE-TX カテゴリ5以上ツイストペアケーブル (100m)

共通

< LED >

POWER、WAN、LAN Link/Act、LAN 100M

< 入力電源 >

DC6V、1000mA

< 消費電力 >

最大6W

< 外形寸法 (W × D × H) >

131 × 86 × 32mm

< 重量 (本体のみ) >

670g

< 環境 >

動作温度0 ~ 40 °C、動作湿度35 ~ 85%

< EMI >

VCCI Class B、FCC Class B、CE

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

弊社へのお問い合わせ

弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店様またはPCIダイレクトまで。

ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

PCIダイレクト

<http://direct.planex.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。

ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

ご質問/お見積もりフォーム

<http://www.planex.co.jp/lan.htm>

技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

お問い合わせフォーム

<http://www.planex.co.jp/support/techform.htm>

受付：24時間

電話

フリーダイヤル：0120-415977

受付：月～金曜日、10～12時、13～17時

* 祝祭日および弊社規定の休業日を除く

FAX

ファクス番号：03-5614-1018

受付：24時間

お問い合わせ前のごお願い

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。

お客様のご協力お願いいたします。

- ・弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ・ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名(Windows XP/Meなど)
- ・ご利用のネットワークの環境(回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など)
- ・ご質問内容(現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください)

その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

ブラネックスコミュニケーションズ

<http://www.planex.co.jp/>

注)上記内容は2002年5月現在の情報です。内容は予告なく変更または削除される場合があります。ご了承ください。

質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

ブラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行

FAX : 03-5614-1018

送信日 : _____

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名 Product name	4ポート ブロードバンドルータ
型番 Product No.	BRL-04EX
製造番号 Serial No.	

ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

ソフトウェア

ネットワーク OS	バージョン
OS	バージョン

ご使用のプロバイダについて

プロバイダ名	
サービス名	

保証規定

ブラネックスコミュニケーションズ(株)は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。

本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。

ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

- 1.本保証書がない場合
- 2.本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合
- 3.取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷
- 4.ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷
- 5.火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷
- 6.他の機器との接続に起因する故障・損傷

初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。

お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。

ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件になります。

初期不良・修理の手順(センドバック方式)

弊社では、センドバック(先に修理依頼品をお送りいただき、弊社より修理完了品をご返却する)方式による修理対応を行っております。

- 1.本製品に故障・不具合が発生した場合、弊社サポートセンターまでご連絡ください。お送り先をご案内させていただきます。

ブラネックスコミュニケーションズ(株)サポートセンター

フリーダイヤル：0120-415977

FAX：03-5614-1018

Web：<http://www.planex.co.jp/support/repair.htm>

- 2.ご案内に従って修理依頼品を弊社リペアセンターまでお送りください。

(誠に勝手ながら、リペアセンターへお送りいただく際の送料はお客様のご負担をお願いいたします)

- 3.当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

免責事項

- ・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等)につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

保証書

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日より 1 年間		
製品名 Product Name	4ポート ブロードバンドルータ		
型番 Product No.	BRL-04EX	製造番号 Serial No.	

個人使用 法人使用 (チェックしてください。) 個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。			
フリガナ			
会社名			
部署名			
フリガナ			
お名前			
フリガナ			
ご住所	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> □□□□-□□□□ </div> <div style="text-align: center; margin-top: 5px;"> 都道 府県 </div>		
TEL		FAX	
メールアドレス			
ご購入 代理店名 ・所在地			

BRL-04EX マニュアル補定文

SS Manual No.PHM-02-10-03-JF-BRL-04EX Version 1.0

このたびは、PCI製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
最新ファームウェアアップデートにより、以下の機能が追加されました。

■UPnP (ユニバーサルプラグアンドプレイ) 設定

UPnP機能によって、Windows XPのWindows MessengerなどのUPnPに対応したアプリケーションを本製品のLAN側に接続したコンピュータで使うことができるようになります。

【設定方法】

- 1.メインメニューの「ルータ設定」をクリックし、詳細設定メニューの「UPnP設定」をクリックします。
「UPnP (ユニバーサルプラグアンドプレイ) 設定」が表示されます。
- 2.UPnPを設定します。「有効」「無効」のラジオボタンをクリックします。

設定項目	内容
------	----

有効	UPnP機能を有効
無効	UPnP機能を無効 (標準設定)

3. [設定] をクリックします。

「処理中です。しばらくお待ちください。」が表示されます。しばらくすると、ウェブ設定画面が表示されます。これでUPnP設定は終わりです。

※Windows Messenger対応について

Windows XPでUPnP機能を利用する場合は、[コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] → [Windowsコンポーネントの追加と削除] → [ネットワークサービス] から [ユニバーサルプラグアンドプレイ] の項目がチェックされている必要があります。本バージョンでは、Windows Messengerの.NET Voice Services (Windows Messenger上の「電話をかける」操作) には対応していません。

今後ともPCI製品をご愛顧いただけますよう、お願い申し上げます。